

平成 27 年 2 月 4 日

いわきの津波被災地区を応援するリーフレットを学生が作成

津波で壊滅的な被害を受けたいわき市豊間地区の復興状況や地域の魅力を紹介するリーフレット「とよまっぷ」を行政政策学類の学生が作成しました。

地区の復興を牽引する住民組織「ふるさと豊間復興協議会」に協力し、昨夏から地区で聞き取り調査やまち歩き、特産品試作などを実施してとりまとめ、1月に開業した仮設商店などで配布を開始しました。

【学生の活動】

「地区外の人にも豊間の復興の現状や震災前からの地域の魅力を知ってもらいたい」という思いから、福島大学行政政策学類行政学ゼミの学生 13 名が昨夏から調査を始め、A4 三折両面カラーの地区紹介リーフレット「とよまっぷ」をとりまとめました。地区の復興計画や伝統行事などについての現地での聞き取り調査を始め、婦人会の女性たちと秋刀魚料理を試作し特産品づくりを提案するなど、何度も顔を合わせながら地域の魅力を発見してきました。おとし 2013 年、借上住宅に分散した避難住民の顔合わせの機会として行われていた地区の日曜市を手伝うために通ったことがきっかけとなり、本リーフレット作成を企画するに至りました。

なお、調査のための交通費などには、学生の自主的活動を支援する「あぶくま学生支援基金」(学類同窓会「阿武隈会」)から一部財政的援助を受けました。

【いわき市豊間地区】

いわき市豊間地区は東日本大震災の津波で壊滅的な被害を受けましたが、地区の復興を牽引する住民組織「ふるさと豊間復興協議会」が当時の区長を中心に 2011 年 8 月に立ち上がりました。「住民が戻ってくるまち」を目指し、地域住民の思いをワークショップでとりまとめるなど、地域と行政をつなぎながら日々粘り強い活動を継続しています。昨年 10 月には地区に災害公営住宅が完成し、約 180 世帯が戻ってきました。地区での生活の利便性を高めつつ、産業の再生につなげていくために、今年 1 月 15 日には「復興商店とよマルシェ」が開業しています。

【添付資料】

とよまっぷ

(お問い合わせ先)

学生代表 4 年 渡邊大貴・3 年 内藤崇弘
行政政策学類准教授 西田奈保子

電話：024-548-8292

メールアドレス：nishida@ads.fukushima-u.ac.jp